

平成 30 年度 仙台市 水防 協議会

議 事 録

I 開催日時：平成 30 年 6 月 8 日（金）10 時 00 分から 11 時 25 分

II 開催場所：TKP ガーデンシティ仙台勾当台 ホール 5

III 出席者：会長 1 名・副会長 2 名・委員（代理含む）13 名 計 16 名

役 職	職 名	氏 名	備 考
会 長	仙台市長	郡 和子	
副会長	仙台市副市長	高橋 新悦	
”	” 危機管理監	佐々木淳一	
委 員	仙台市議会議員	佐藤 正昭	
”	”	菊地 崇良	
”	仙台管区気象台気象防災部長	西尾 利一	代理 吉田 薫
”	東北運輸局総務部長	谷藤 耕浩	代理 澤村 和則
”	東日本電信電話株式会社宮城事業部設備部長	武田 義文	代理 渡邊 健一
”	東北地方整備局仙台河川国道事務所長	松居 茂久	代理 鳴原 吉隆
”	” 釜房ダム管理所長	山尾 昭	
”	宮城県仙台土木事務所長	平塚 智	代理 佐藤 宏
”	” 仙台地方ダム総合事務所長	加藤 鎌之	
”	宮城県警察仙台市警察部長	渡邊 政明	代理 伏見 節男
”	公益財団法人宮城県消防協会仙台地区支部長	高橋 利一	
”	仙台市婦人防火クラブ連絡協議会会長	八木 彌生	
”	仙台市消防局長	中塚 正志	

IV 傍聴者：なし

V 議事次第

1. 開 会
2. あいさつ 市 長
3. 議長選出
4. 議 事
平成 30 年度仙台市水防計画（案）について
5. 報告事項
 - ① 平成 30 年度河川巡視結果について
 - ② 平成 30 年度の河川整備等について
 - ③ 防災気象情報の改善と東北地方の季節予報について
6. 閉 会

VI 配付資料

- ・資料 1-1 平成 29 年度 主な災害対応状況
- ・資料 1-2 平成 30 年度仙台市水防計画（案）について
- ・資料 1-3 平成 30 年度仙台市水防計画（案）
- ・資料 1-4 洪水浸水想定区域図の作成について（増田川・砂押川）
- ・資料 2 平成 30 年度河川巡視結果
- ・資料 3 平成 30 年度の河川整備等
- ・資料 4-1 防災気象情報の改善
- ・資料 4-2 東北地方の季節予報

Ⅶ 会議経過

1. 開 会

2. あいさつ 郡市長

3. 議長選出

- 条例第七条の規定に基づき水防協議会会長の郡市長が議長とされた。
- 議事録署名委員として、宮城県仙台地方ダム総合事務所長 加藤鎌之委員及び宮城県消防協会仙台地区支部長 高橋利一委員を指名した。

4. 議事

(1) 審議事項 平成 30 年度仙台市水防計画（案）について

- ・資料 1-1、資料 1-2、資料 1-3 に基づき、事務局（仙台市危機管理室防災計画課長）から説明
- ・資料 1-4 に基づき、宮城県河川課から説明

（発言要旨）

【議長 郡市長】

平成 30 年度仙台市水防計画は原案のとおり承認することとしてよろしいか伺う。

【仙台市議会議員 菊地委員】

平成 30 年度仙台市水防計画案については了解した。

計画に関わることで 2 つの意見を述べたい。

1 つ目は「情報」についてである。「警報等の発令情報」、「住民へ周知する情報」、「自治体や関係機関が使用する河川状況や雨量、危険度などの情報」など、様々な情報を発信、共有しなければいけないが、関係機関の連携の確認を兼ねて情報の管理状況について伺いたい。

2 つ目は「排水、分水のコントロール」についてである。仙台市では、東日本大震災の復旧事業とし、海岸の排水場や雨水幹線を改修、整備し、従来よりも排水能力が向上している。しかし、近年の災害の豪雨、激甚化を見たときに、排水においては各部署の縦割りの部分が色濃く、ダムから流れてきた水がどのように河川に行っているのか、仙台の地域でどのように雨水が上がっているのか、それが下流に行ったときにどのように水が配分されるのかといった総合的な水の流れの分析が着手不十分だと認識している。

一方、仙台市の津波被害を受けた農業地域の土地改良区では、従来、手動であった農業用水の分水管理をオートコントロールにするなどし、総合的な水の情報管理と分水、排水のオペレーション管理を可能とした事例がある。

このような事例を踏まえ、先に述べた、ダムから河川、地域の雨水、下流への排水、

分水といったコントロールについて考えを伺いたい。

【事務局 仙台市危機管理室防災計画課長】

治水については、河川改修等のハード対策はもちろんのこと当該水防計画に定めるソフト対策の両軸が重要であると認識している。

1つ目の情報については、当該水防計画内の「通信連絡系統」、「各種情報の伝達系統」の部分に取決めを記載している。また、計画内の「市民に対する周知方法」の部分では、様々なツールを記載しているが、迅速かつ的確な情報を市民に周知するため多くの手段を定めている。そして、緊急時でも対応できるよう計画内の取決めを基に訓練を行っているところである。

2つ目の排水、分水のコントロールについては、緊急対応として排水ポンプ車出動の要請を計画内で定めている。当局からは主にソフト面についての回答となる。補足について関係機関に説明をお願いする。

【宮城県河川課】

河川への排水、コントロールについて説明する。

上流域については、ダムの操作規則というものがあり、それに従い放流を行っている。下流域についても樋門等の操作規則があり、それに従うことになる。なお、ダムの放水量や河川の水位等については、河川の情報システム及び監視カメラで確認、管理している。また、河川の情報システム及び監視カメラの情報は平時より一般の方もインターネットを通じて見ることができようになっている。

【仙台市議会議員 菊地委員】

情報の管理については、引続き関係機関の連携、市民への周知をお願いする。

2つ目の分水については、例えば仙台市内の全体をみて、この辺には雨が多く降っている、あるいは溜まっている、あるいは河川の水位が高いので、分岐している河川のどこに流せばいいのか、あるいは名取川、七北田川のどの部分に流すのが適切なのかといった総合的な管理をしていくべきでだと考える。財政状況の厳しき折ではあるが、行政の使命として、法律の合理化と能率化を果たしていくためにIT化技術等を活用し、分水システムを構築する必要があるのではないか。

防災先進都市仙台として、国、関係機関、民間の方々の力を借りながら対応をお願いしたい。

【東北地方整備局仙台河川国道事務】

内水の発生に関するご指摘と思う。内水対策を効率よく進めていくためには、ご指摘のとおり関係機関との連携、また、意見交換が必要となってくると考える。

情報の共有については、今までの取り組みを改めて実施していく。

【副会長 高橋副市長】

菊地議員からのご指摘については、仙台市の課題として取り組む必要があると考えている。

宮城県へ2つの質問がある。1つ目は、増田川の過去の氾濫では樽水ダムとの関係が原因と記憶しているが、今回の洪水浸水想定区域のシミュレーションはダムの運用を踏まえているものなのか伺う。

2つ目は、砂押川の下流の排水能力が上がったという説明について、雨水ポンプ場のことであると思うが、この場合は、河川でなく海に放流していることになると思うが、その評価方法について伺う。また、上流側でもポンプ場の能力を加味しているか伺う。河川（外水）氾濫と同時に内水氾濫も起きることが考えられることから、どのように洪水浸水想定区域をシミュレーションしているのか確認したい。

【宮城県河川課】

増田川については、樽水ダムの運用を考慮しており、現在のダムの操作規則に合うような計算条件でシミュレーションをおこなっている。

砂押川の排水能力については、ポンプ場の能力である。排水が河川なのか海なのかについては、資料を持ち合わせていないことからこの場では回答できない。上流側のポンプ場については、基本的にポンプ場の施設を調査しており、施設自体が浸水想定の高さに浸からなければ能力を加味するというシミュレーションになっている。

【仙台市議会議員 菊地委員】

最後に、仙台市は津波対策として県道亘理塩釜線のかさ上げ道路を設計しているが、これが完成すると雨水対策としては弊害となることが考えられる。状況を分析し、検討をお願いする。

【議長 郡市長】

平成30年度仙台市水防計画修正案はご承認いただけるか。

【委員一同】

異議なし

5. 報告事項

① 平成30年度河川巡視結果について

- ・資料2に基づき、仙台市消防局警防課長から説明

② 平成30年度の河川整備等について

- ・資料3に基づき、仙台河川国道事務所長代理 鳴原副所長から説明
- ・資料3に基づき、宮城県仙台土木事務所長代理 河川部佐藤次長から説明
- ・資料3に基づき、仙台市建設局百年の杜推進部河川課長から説明

③ 東北地方の長期予報について

- ・資料4に基づき、仙台管区气象台気象防災部長代理 吉田気象防災情報調査官及び説明員から説明

(発言要旨)

【仙台市議会議員 佐藤委員】

先ほど仙台市の水防計画案を我々は了承したところであるが、市、県、国の垣根をなくした協力が大切であると考え。例えば、計画の中には、指定避難所として市立学校が記載されているが、地域には県立の高校もあれば、国の施設もある。こういったところでも連携はできる。また、情報の提供といったところでは、全ての市民にスムーズに行渡る対応が必要である。例えば、高齢者や障害者の方々にも情報がスムーズに行くように婦人防火クラブや消防団と連携するなどお集まりの関係機関の連携、協力をお願いしたい。

【議長 郡市長】

来る6月12日には、仙台市民防災の日ということで、直下型地震を想定した身体保護訓練等を実施することとしている。引き続き関係機関の皆様方については、ご支援、ご協力をお願いしたい。

【議長 郡市長】

以上で議事的一切を終了する。

6. 閉会

以上、事実に相違ないと認める。

平成30年6月25日

仙台市水防協議会委員

加藤 謙之



平成30年6月29日

仙台市水防協議会委員

高橋 利一

